

寺報

龍正寺

日なた 167号

初心

日
延


<令和 4年 4月>

宝龍会
護持会

春季彼岸会開催しました

令和4年3月21日（月・祝）



コロナ感染対策に協力して頂き、
ご先祖様の供養に檀信徒の方々が
御参拝されました。

彼岸会は、春分と秋分を中日として前後3日の7日間、春と秋に行われる。此岸（しがん）とよばれるこの世から、彼岸（ひがん）である極楽浄土に思いをはせる行事。

常に変化し苦しみ多いこの世界を「此岸」というのに対し、対極にある苦しみを離れた平安な世界を「彼岸」といいます。

煩悩を離れて悟りの境地に至ろうとする仏教思想と日本的な先祖供養の信仰が結びついて、祖先の霊を供養する行事となりました。

住職一言 (御遺文略義より)

4月は年度初め、生活の中色々変化があるのではないだろうか。

日蓮大聖人 御遺文より

『妙法蓮華御前御返事云』

「夫れ以れば、日蓮幼少の時より佛法を学ば候しが
念願するく、人の寿命は無常なり、出る気は入気を
待つ事なし。風の前露、尚たとえにあらず、かしこ
きもはかなきも老たるも若きも定め無き習い
なりされば、先臨終の事を習うて後に他事を習う
べし」

(解説) 日蓮は幼少の時から佛法を学んだが、孝へる
のに人の命は無常で、出る気は入る気を待つこともなく
風に吹かるる露よりもはかない、賢愚老若の別さ
なく、死はおそう、是れ故、他事はさておき、何より
も先に臨終のことを習うと思ふべし

〔御遺文〕 思いて一代聖教の論師の書釋あうあうか
かへあつめて、此を明鏡として、一切の諸人の死する

時と共に臨終の後とに引向へてみ候へば、すくも
くもりなし。此人は地獄に墮ち給ふ、乃至人、天とはみへ
て候を」

(解説) 佛一代の聖教を註釋した書物を大略勘へ集めて、
これを鏡として一切の人の死ぬ時の様と死んだ後の相とを
引きくらべて見るに、少しも雲けがない。此人は地獄に
墮ちるとか、また人間界や天上界に生れるとかが、明らか
にわかる。

私たちの常日頃のおこないが説かれてゐます。

自分自身の言葉の使い方も日頃の態度、思いやり
等によって、おのれが変わる事で地獄が極樂なる
教えであり、お題目(法華經)を唱え、心の安らぎ

を持ちましよう 合掌

南無妙法蓮華經

「今日の続きが、明日」

私は日々のトレーニングを通じて内容を日誌に残していける。
ジム内では身体全体を行りのびはよく...

今日は肩の前横と腕の前と後ろを何セット何回か
とかを日におろした部位を分けて集中で行います。

肩と腕を三時間トレーニングした後はお風呂で髪を洗う
時に腕が上がらない時があります。

そうすると明日は足と背中をのび、とか部位を変えて
自身でメニューを組み立てる事が出来ます。。

それサイクル的に身体全体を回して行きます。

今日やれたメニューで満足出来る事があると日誌に残し
翌日に再度セットを組み立てる時があります。。

以前に会社の経営についての...

業務のカリキュラムやマニュアルを記載して段階的に

遂行できるように作成していた経験からか...

こうした日誌を記する癖があります。

そんな時にふと感慨深く思った事がありました...

「昨日の続きが今日、今日の続きが明日」と。

昨日の反省を今日やり、今日出来たら明日は違う事をする。。

これはモレカレから.. 別な見方を可也は..

自身の魂のルーツと同じ所に思え来よ..

「前世の続きが今世、今世の続きが来世」という事に。

前世に於いてクリアできなかった事や心の気付けなかった事を
今世で課題としてやらなくてはならないのか？

それ来世に新たな人生を迎える時に..

全ては目に見えない糸のつながりから繋がっているのか？
と思えよ.. 私にいつかお迎えが来た時に、

神様から来世も今世と同じ人生メニューをもう一度やりなさい
と告げられ.. 私はきいて自覚を掲げてお断りしよ..

そんな来世や明日に於ける事に

今日を過去よりも前に進める自分に戒る事に

深く思えよ..

「対応力」

テレビでの一場面... ある高校の部活をとりあげていた。
顧問の先生の指示がコロコロ変わる。3年生は淡々と
指示に従い、1年生と2年生に指示をしていた。
1年生、2年生はその指示に従うのがやっと、コロコロ
指示が変わる事に腹を立てるのではなく、指示に対応
できる3年生は、臨機応変に対応できる力が育って
いるので「淡々とできるのだ」と気がさせられました。

これは、社会に出ても一緒だなと思いました。
答えなどはなく臨機応変の対応力が求められるの
だと...

お寺で給仕している事も一緒だめすべて繋がっている。
お寺の事も最初はわからず右往左往、テレビの中の1年生
や2年生と同じでした。経馬験していく中で、自分なりに
考え、失敗しながらも自分の中に気づきが増えて
給仕もスムーズに出来るようになってきました。

3年生と同じような状態ですね。

自分の欠点は、どうしても物事を点で見てしまう事です。
こゝは、こゝと分けて考えているため突発的な事が起ると
四苦八苦してしまう。物語のようにわかれば、落
ち着いて対応できるのだが、頭でわかっていても実践
となるとなかなか身に付かないんです。

今のこの時世は、突然、戦争が起ったりと、自分では
予想しえない事が起ります。

天災・人災・戦争・病気・事故 いろいろな事は、いつ来る
かわかりません。

あたりまえの日々は とても幸せである事に感謝し、
この先に起るであろう有事を想定しながら過ごす事
も大事ではないかと思えます。

何が起ってもあわてない自分でいれるよう対応力を
身につけていきたいです。

春の訪水

最近春になってもウグイスの鳴き声か
聞えなくなってきた感じがする

ウグイスは春告鳥である!!

初音をきいて春を感じる

ウグイスの鳴き声が「ホーホケキョー」から
大変に尊い鳥だとおっしゃる方も有りとか

新聞より読みました ホーホケキョ
ホーホケキョと
そういえばそんな風に聞こえます

やはり法ヶ経はブランドのようです このお言葉も
本で読みました

法ヶ経にご縁がいただけましたと今
何より何よりのよろこびでございます

人生の道は誰しも 大波小波 波なきは
有れないことと学びます

そんな波にのって歩いてゆくさまな人生の
道もやはり仏縁がいただけでしたおかげ
さまがあればこそと思ってみます

目には見えずの不思議のご守護を何度も
感じています

あのことも このことも…やはり尊いご守護の
おかげ様によるにびます

「
幸せよるにびには花が咲くけれども
苦し実 悲し実 には実がつく沢山
実がつくほどに人は感謝という
種をつける」 若い時に学びました
法ヶ経の学びよりこんなこと柄の意味
合もよく解おうになりまたご法のおかげ様に
今よるにびでございます
これから感謝の種を 幸せよるにびの種を

重ねてゆけますようにと思ってみます

くるし(実)かなし(実)の中より多くの学びが
あるのではと思います...

年を重ねて参りました今に...

自分が描いた自分 なりたい自分になれた
のかと 伺ってみます時... 仏様が与えて
下さっています今に自分がいます

何もできず 何も無いわたくしですが幸せによるこび
を描きます

あの方 この方よりのご好意に甘えさせていただき
まして 勿体なく有りがたくよろこびの御礼を
申します よろこびのお題目を静かに唱えて
おります ありがとうございます

南無妙法蓮華經

合掌

病いよりて道心はおこり候

今年、結婚40年目を迎える事が出来ました。

その朝は主人の“40年間ありがとう！”，と言葉と彼の入れてくれたモーニングコーヒーで目が覚めました。

彼の言動に驚きと喜びでステキな朝になりました。

その夜、仕事から帰宅すると、テーブル上に小さなケーキの箱があり、中にはイナゴタルトがワンホール。結婚記念日おめでとう”とケーキにメッセージが入っていました。

“わあ～サプライズだ!!”，一瞬に涙はふっ飛び、胸は熱くなりました。

今までも大病を繰り返しながらも、仕事復帰していた彼でしたか、今回は身体に障害もあり、車の運転も難しくなりました。

彼は徒歩でケーキを買いに行ってくれたのです。歩く事も疲労感が強く残り、人との会話も彼にとっては難しい事もあります。今までの違う状況の中での最大のプレゼントでした。彼との人生の中で最高の喜びでした。

今回、これ以上の喜び俵せも、彼の病状によって学びました。

” 病いよりて道心はおこり候。 ” (妙心尼御前御返事)
「日蓮百話」
健康な毎日を送っている時は、日々の生活が当たり前になっ
てしまいます。

日常の生活の中で、生かされて頂いている事の自覚や
感謝の思いは意識する事なく過していました。

しかし”病いというものが身近に現れると、恐怖・不安の
中で”生きている”事への自覚・感謝を痛感します。

”人の死ぬる事は病にはよらず。”病あれば死ぬべし
ということ不定なり。”病気たからといって死ぬと決ってい
ない。”病気は仏のおんほからいであるう。”病ある人は仏に
なるべき由、病いのみか死因となるものではなく、かえって
病気が求道の縁となつて道心がおこるのであるうと示され
ている。(日蓮百話より)

このような事を 実体験させて頂いています。

長い夫婦生活の中で彼の気持ちと考えずに、自分の思
はかりを優先してしまう事も多々ありました。それが要因と
なり、ケンカになる事もありました。現在病気と向いあつて
いる彼のおかげで、私自身も、自分の言動に、立ち止まり、

内省する事が出来るようになりました。

このような事にもっと早く気づけていたら…。

いいえ!! 今、この時に気づかせて頂いた事に感謝です。

日蓮大聖人のお教えを学び、一日一日、穏やかに

夫婦共にお互いの感謝の心を忘れずに生きていき

たいと思います。

< 4月行事予定 >

4月8日(金) 10:00~ 釋尊降誕会
宗祖日蓮大聖人報恩会
立教開宗会

17日(日) 13:00~ 大祈禱会

< 4月住職の予定 >

寺院ニテ法務

< 4月の予定 >

4月1日(金)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
7日(木)		
8日(金)	法要後	片付け準備
9日(土)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
15日(金)		
16日(土)	10:00~	飾り付け